

|         |  |
|---------|--|
| 氏名      | 北野元子   |
| 授与した学位  | 博士   |
| 専攻分野の名称 | 医学   |
| 学位授与番号  | 博乙第 3490号  |
| 学位授与の日付 | 平成12年9月30日   |
| 学位授与の要件 | 博士の学位論文提出者<br>(学位規則第4条第2項該当)   |
| 学位論文題目  | Prevalence of hepatitis G virus(HGV)infection in an endemic area of hepatitis C virus(HCV)infection<br>(C型肝炎ウイルス高罹患地区におけるG型肝炎ウイルス感染の疫学的検討) |
| 論文審査委員  | 教授 山田 雅夫 教授 加藤 宣之 教授 原田 実根   |

#### 学位論文内容の要旨

C型肝炎ウイルス (hepatitis C virus, HCV) 高罹患地域におけるG型肝炎ウイルス (hepatitis G virus, HGV) 感染の疫学調査を行った。瀬戸内海の2つの島からなるY町での地域住民健康診断を受診した一般住民288名を対象とした。すべての血清についてHCV抗体を測定し、HCV抗体陽性血清についてはHCV RNAをreverse transcription polymerase chain reaction (RT-PCR) 法により検討した。また、HGV RNAをRT-PCR法で、さらに抗HGV envelope protein (E2) 抗体をELISA法で測定した。対象とした288名のうちHCV抗体は82例(28.5%)で陽性であり、そのうち50例(全体の17.4%)はHCV RNA陽性であった。一方、HGV RNAは9例(3.1%)に、HGV E2抗体は16例(5.5%)に検出された。HGV E2抗体あるいはHGV RNAのいずれかが陽性である率(感染率、exposure rate)は8.3%であり、HCV抗体陽性率に比較して低い率であった。またHGV RNAあるいはHGV E2抗体のいずれかが陽性である24例のうち、15例(62.5%)ではHCV抗体陽性であり、さらにそのうちの9例(37.5%)でHCV RNA陽性であった。また逆に、HCV抗体陽性者82例のうち15例(18.3%)でHGV E2抗体あるいはHGV RNAのいずれかが陽性であり、HCV抗体陽性者におけるHGVの感染率は、HCV抗体陰性者の感染率(4.4%)と比較して有意に高率であった。HCVとHGVの地区別、年齢別感染率は異なっていた。これらの事実は、この地域でもおそらくHCVとHGVに共通する感染経路が存在したことを示唆するが、HGV感染はHCV感染に比較してその率は低く、散発性であったことより、HGVは感染性が低かったものと推測される。

#### 論文審査結果の要旨

本研究は、近年発見されたG型肝炎ウイルス(HGV)感染の疫学について解析するため、C型肝炎ウイルス(HCV)高罹患地域においてG型肝炎ウイルス感染の疫学調査を行ったものである。

その結果、この地域ではHCV抗体は一般住民の28.5%に陽性であり、HCVの高罹患地域でありながら、HGVについては、HGV E2抗体あるいはHGV RNAのいずれかが陽性である率(Exposure rate)で8.3%にとどまることを示している。これらの結果などから、この調査地区でもHCVとHGVに共通する感染経路が存在したことを示唆するが、HGV感染はHCV感染に比較してその率は低く、散発的であるなどと論じており、G型肝炎ウイルス感染の疫学について、新しい知見を加えるものである。

よって本研究者は博士(医学)の学位を得る資格があるものと認める。